

## 二期トンネル整備進む

日本技術士会  
現場見学会  
広島用水の安定供給へ



既設トンネルとの接続部

日本技術士会中国本部  
上下水道部会(今井田敏)

宏部会長は12月12日、

広島県安芸郡海田町内で

「広島水道用水供給事業

二期トンネル整備工事

(海田～矢野工区)」の

現場見学会を開催し、同

部会員約20人が参加し

た。

同トンネルは、平成18

年8月に発生した既存導

水トンネルの天井崩落事

故を受けて広島県が策定

した一県営水道送水ル

「ト強化整備事業」の一環として平成28年から整備を進めている。

また、既存トンネルは平成30年7月豪雨でも土砂流入に伴う送水停止が発生したため、二期トンネルの必要性や二系化による安全な水の供給体制強化への意識が高まっている。

一方、二期トンネルは地盤の固い地質を延長約14・3キロメートルにわたって掘削するため、海田～矢野工区(約4・5キロメートル、φ2・6メートル)ではTBM掘削工(トンネルボーリングマシン)を採用し、1日約10メートルの掘削を24時間実施している。施工は前田・国土・河井JV。見学会では現場事務所では事業説明を受けた後、2班に分かれて地下約60メートルで行われている掘削現場を訪れた。参加者からは、立坑の築造や掘削で使用するTBMマシン等に関する質問が出された。